

令和4年11月16日

脳神経外科に入院歴のある患者さんまたはご家族の方へ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 令和4年3月10日一部改訂」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

また、対象となる患者さんで研究参加を拒否したいと思われたかたも、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。その際には、研究の対象とはしないように致します。

【研究課題名】 入院時肝炎ウイルススクリーニング検査の評価に対する、Co-managementの効果

【研究機関名・長の氏名】 帯広厚生病院 病院長 大瀧 雅文

【研究代表機関名・研究代表者名・所属】 帯広厚生病院 総合診療科 山本 浩之

【研究の目的】 脳神経外科病棟に Co-management を行う前後で、肝炎ウイルススクリーニング検査の結果に対する評価がどのように変化したかを検討する。

【研究の方法】

Co-management とは専門診療科と総合診療科が協同して入院患者さんの診療を行う方法です。従来の専門診療科の診療に加えて、専門科領域以外の医学的問題に対しても幅広く対応することで、診療の質向上を狙う取り組みです。その活動の一環として入院時肝炎ウイルススクリーニング検査に対する評価を行っています。Co-management 介入前後で肝炎ウイルススクリーニング検査に対する評価がどのように変化したかを検討するため、HBs 抗原または HCV 抗体が陽性である患者さんに対する診療内容を集計検討します。

○対象となる患者さん

2016年9月24日・2022年9月23日に脳神経外科に入院した患者さん

○利用するカルテ情報

患者さんの肝炎ウイルススクリーニング検査に関わる検査結果（HBs 抗原、HCV 抗体な

ど)と診療録でどのような評価が行われたかを集計します。

上記のカルテ情報は疫学的分析を目的に、帯広厚生病院総合診療科の医師のみが集計・解析します。

[研究実施期間]

2016年9月24日-2022年9月23日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることが出来ます。

[個人情報の取り扱い]

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など患者さん個人を特定出来る情報は削除して管理致します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定出来る情報は削除して利用致します。

※上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は集計対象から除外致しますので以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

帯広市西14条南10丁目1番地 帯広厚生病院 総合診療科 山本浩之
電話 0155-65-0101(代表) FAX 0155-65-0105